



# いちご いちご ピクニックに行こう

## 初めてとの出会い

4月は初めての環境、初めての出会い、体操服での登園など、子ども達にとって“はじめて”があふれる月でした。初めての環境になかなか慣れずに登園時には涙が出てしまう子、生活する中でどうしたらいいのかわからない様子の子、さまざまな姿が見られました。

そんな子どもたちも保育者が間に入りながら友達と一緒に遊んだり、一緒に同じ給食を食べたりする中で、少しずつ安心して過ごせる日が増えてきました。話をしたり、気持ちを伝え合ったりと、毎日の中でたくさん成長を見せてくれています。



初めの頃は、それぞれが好きな場所や玩具を見つけて遊んでいた子ども達ですが、クラスの中で一緒に遊ぶ経験を重ねるうちに、同じ場所で似たような遊びを楽しむ姿が増えてきました。今ではお互いの名前を呼び合ったり、誘い合ったりしながら、友達との遊びを楽しむ姿が見られます。1人で遊ぶ楽しさもありますが、みんなで遊ぶことでまた違った楽しさに気づく子ども達。友達との関わりを通して、園生活ならではの遊びの広がりや日々楽しんでいるようです。

砂場でおままごと遊びをしていると、ある子が「アイスを作っている」と話し始め、それを聞いていた子ども達が「私はいちご!」「チョコアイス!」など、言葉や物を通してやりとりが広がっていきます。お互いに刺激を与え、与えられながら集団だからこそ広がるアイデアや想像の世界も楽しんでいます。



## 身体を動かすこと 大好き



表現遊びではいろんな発想や表現がどんどん生まれる子どもたちです



## しっぽ取り



赤いマットも子ども達の手にかければ、ステージに早代わり!

身体を動かすことが大好きないちご組さん。音楽が流れると自然に体が動き出し、「この曲知ってる!」と嬉しそうに元気いっぱい踊る姿が見られます。ピアノの音が聞こえると、元気いっぱいに歌い出す子ども達。歌うことも踊ることみんなで楽しんでいます。

園庭やな～もの森での遊びも子ども達のお気に入りです。虫を探したり、葉っぱや木の実を使ってままごとをしたりと、自然の中で思いきり遊ぶ姿が見られます。最近では、友だちと一緒に遊びを考えたり、ルールを作って楽しむ姿も見られるようになりました。みんなで遊ぶことを通して、子どもたちの中で少しずつ「自分たちで考えて動く力」や「友だちと一緒に楽しむ力」が育ってきています。



## 貨物列車～♪

### 作ってみよう！

子どもたちがままごと遊びの中で、野菜や果物を切ってお皿に盛り付けたり、お弁当に見立てて「はい、どうぞ」とやり取りを楽しむ姿が見られます。食べ物を作ってお友達とのやり取りを重ねていく中で、「ピクニックみたいだね」「ピクニック行こう！」という声があがり、野菜や果物をバッグに詰め込んでお出かけするピクニックごっこが始まりました。

ピクニックごっこを楽しんでいると、「もっと食べるもの作りたい！」「本当のお弁当みたいに作ろう」という声も挙がり、「からあげ！」「おにぎり！」と具体的に作りたい具材のイメージもたくさん湧いてきた様子。お弁当のバック（容器）やみんなが提案してくれた食材に見立てられるような生活素材を準備して、みんなで協力して自分の好きなおかずを詰め込んだお弁当を作りました。「からあげ弁当！」「スパゲッティ弁当！」など、自分の好きなものがあふれるお弁当にとっても満足そうな子ども達。「このお弁当を持ってどこに行こうかな？」と、想像を膨らませながら楽しく遊んでいます。



美味しそうなおかずが出来ました♪



お弁当、お弁当、嬉しいなあ〜♪



エビフライ  
卵焼き  
ウインナー



ブロッコリー  
パスタ  
おにぎり  
からあげ



### 絵カード遊び



最近、子どもたちが楽しみにしている活動のひとつに「絵カード遊び」があります。

「絵カードで遊ぶよ」と声をかけると、「やったー！」「早くしたい！」と嬉しそうに集まってくるほどです。

始めたばかりの頃は、保育者が出したカードの絵を見て「りんご」「きりん」など、描かれているものの名前をみんなで答える遊びから始め、最近では、絵カードの内容を見てカードを仲間分け（分類）するゲームも取り入れています。

カードを見比べながら、「動物」「果物」などその特徴から仲間を見つけていきます。今では全員で一緒に答えるだけでなく、「わかった！」と手を挙げた友達に前に出てきてもらい、みんなの前で発表してもらう機会も設けています。「よく観察する」「自分なりに考える」「みんなの前で発表する」など、遊びの中でさまざまな経験を重ねています。



ちょっとドキドキするけどみんなの前で発表したい！

### みんなで発表を楽しもう！

2学期が始まり、当番活動やさまざまな経験を通して、人前で発表する機会を少しずつ取り入れています。もちろん、最初は恥ずかしくてみんなの前に出てくるだけでも緊張してドキドキしている様子がありました。

みんなに見られるのは恥ずかしいけれど、前に立ってみたい・・・そんな子ども達の葛藤を受け止めながら、少しずつ日々の経験を重ねてきました。すると、みんなの前に笑顔で立てる日も出てきたり、照れ隠しのつもりで普段よりも大きな声で発表してくれたり、抵抗感も次第に和らいでいきました。

生活発表会を迎えるにあたって、発表会活動をホールで取り組んでみると、保育室と同じ遊びや歌を歌う場面でも、場所や環境が変わったことで緊張感を見せていた子どもたち。その後、ホールでスロープを何度もすべるなど繰り返し遊んだり、他のクラスの発表会活動を見たり、見に来てもらったりする経験を通して、今では保育室と同じように楽しんで取り組む姿が見られるようになりました。

たくさんのお客さんを前に、生活発表会当日は緊張する場面もあるかもしれませんが、温かい目で見守り、応援していただけたらと思います。入園当初から大きく成長した子ども達の姿を、ぜひ感じていただければありがたいです。

